

# HIDAMON Vol.11

～飛騨の隠れた魅力を発掘～

この人にインタビュー!

飛騨古川ユースホテル  
大田 利正さん  
古川町信包180 ☎0577-75-2979



▲町歩きでは、知る人ぞ知るマニアックなスポットに案内してくれる。



▲町の人との交流で、よりローカルな飛騨を楽しむことができる。



第11回は、『飛騨古川ユースホテル』の経営と一風変わった飛騨の町歩きガイドでファンやリピーターが増えている大田利正さんを紹介。

大田さんは、38年前に山口県から移住。移住のきっかけは、長野県で旅人に古川町の地図を見せてもらったこと。『コンパクトでめちゃくちゃして面白そうな町だ』と古川町に興味を持ち、当時の古川の景観や雰囲気、心を打たれ移住を決意した。

その後は、飛騨古川ユースホテルを経営しながら、観光名所や歴史を案内する一般的なガイドとは違った、飛騨市のローカルなスポットを案内する町歩きガイドをしている。そのニッチでマニアックな町歩きにファンやリピーター、指名も多いという。

そんな大田さんが飛騨市ふるさと納税の返礼品として始めた『おっさんレンタル』をご紹介したい。

この体験は、飛騨の町歩きガイドである大田さんが、お客さんの要望を聞きながら、飛騨の隠れた魅力を紹介するもので、9月から提供を開始している。飛騨のディープな体験がしたい方や普通のガイドでは満足できない方などにぜひオススメしたい。

大田さんは「僕のガイドは、町の面白い人に声を掛けながら、お客さんと一緒に楽しむという独特な案内をしています。建物や伝統文化、歴史を紹介するのはもちろん大切なことですが、よそ者目線や観光客目線で、『これなんだろ?』とか『変なものあるよ』みたいなワンダーを見つけて、そこから謎解きをしていくのが面白いし、謎が解けなくても面白い。普段当たり前だと思ってるものでも少し違う目線をもつことで面白いものに出会えるかもしれない」と町歩きの楽しさや魅力を語ってくれた。

普段のなにげない町並みでも、少し違う目線でみると新たな発見があるかもしれません。ぜひ大田さんと一緒に飛騨市のワンダーを探してみたいかがでしょうか。

▲大田さんのガイドは、リピーターや根強いファンも多い。

▲大田さんが心を打たれた38年前の飛騨古川駅前の様子。



人口の動き (9月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
11,546	12,349	23,895	8,866
出生	10	転入	34
死亡	32	転出	32

消防の状況 (8月31日現在)

	火災	救急
飛騨市	5	724
その他 (管外出動)	0	3
前月比	1	124

交通事故の状況 (8月31日現在)

	人身交通事故		物損交通事故
	件数	死者 傷者	
本年累計	14	2 24	329
昨年同期	25	0 48	351
増減	-11	2 -24	-22